

# 豆 狸 の 寝 言

副会長 三原幸二

<休みの三日間を家の中でごろごろ過ごすのはよくない。どこか散歩に適切な場所はないだろうか…> ぼんやりと考えていて、ふと岩湧寺が思い浮かんだ。昔、子供たちがまだ幼いころ、一緒に二、三度行ったことがあるお寺だ。

あそこなら我が家から歩いて小一時間ほどであろうし、散歩にはころあいの距離だと思い、出かけることにした。

しかし人間の記憶というものは、あまり当てにならないもの。実際歩き出してみると、思ったよりも遠く、だらだらとした長い上り坂が続き、予定の時間をとうに過ぎてもまだ半分も来ていない状態。つっぱる足に、<来なければよかった>と後悔の念がしきりである。

岩湧寺に近づくにつれ、先の台風のせいであろう、樹木の倒壊や、切断された切り株が目立つ。おそらくこの道にもたくさんの木がなぎ倒されていたのだろう。

お賽銭をあげ、お参りをすませて、ふと一枚の色紙が目についた。それには、次のような一文が書いてある。

心が変われば 態度が変わる

態度が変われば 習慣が変わる

習慣が変われば 人格が変わる

人格が変われば 運が開ける



なるほど、いいことが書いてある。

普段から横着な私が岩湧寺へ参ろうとした。これも心変わりに値するだろうか。そうだとすれば、いずれは運が開ける。

そんな不心得な思いを抱きながら行きとは反対に、爽快な気分で山を後にした。

帰りは約一時間。ほぼ半日つぶれ、不足たらたらで来たが、帰りは満足して帰った次第である。

(1999年・今年こそ運が開けますように)

## 会報誌 **NewWave** へご寄稿のお願い

「New Wave」誌は、皆さまに身近な会報誌としてご愛読していただくことを目指しています。その第一歩として、読者の皆さまからのご寄稿を数多く掲載することを計画しています。一人で心の中にしまっておくには勿体ないような面白い話や為になる話。それに、地元のグルメ情報などジャンルは問いません。

ご寄稿は、メール・アドレス「[zennichi@jeda.or.jp](mailto:zennichi@jeda.or.jp)」へ、件名「寄稿」と記入の上、送信して下さいますようお願い致します。800～1000文字程度にまとめた文章に写真2～3点を添えていただければ幸いです。

各単組の組合員企業ならびに賛助会員企業の皆さまよりのお便りをお待ちしております。

全日本電設資材卸業協同組合連合会・広報委員会